

令和3年度 学校アクションプラン 年度末評価

龍谷富山高等学校

|            |   |               |
|------------|---|---------------|
| 重点項目       | <b>1. 教科指導</b>  |               |
| 重点課題       | 生徒の学習意欲を高めるとともに、自主的に学習活動を進めていく生徒を育てる。   |               |
| 現 状        | <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら学習課題を見つけ、意欲的に学習活動に取り組む生徒が少ない一方、学習課題を与えると真面目に取り組む生徒は多く見受けられる。</li> <li>平日、休日を通して全体的に学習時間が十分でない。</li> <li>目標を持って学習時間を確保し学力向上に向かう意識の向上が必要。</li> </ul> |               |
| 達成目標       | <ul style="list-style-type: none"> <li>学年末評価において全科目認定。</li> <li>家庭学習の時間を昨年より+30分達成できた生徒が全体の50%以上。</li> </ul>  |               |
| 方 策        | <ul style="list-style-type: none"> <li>担任と教科担当は連絡を密にして、事前指導を徹底する。</li> <li>生徒が取り組むべき課題の提供を習慣化する。</li> <li>授業の枠組みとして、毎時の授業で目的を「課題」提示することによって明確にし、課題の達成状況を「確認」する。</li> </ul>                  |               |
| 達成度        | <ul style="list-style-type: none"> <li>学年末の評価で追認判定を要する生徒が若干名いた。</li> <li>家庭での学習時間はほぼ横ばいであった。</li> </ul>   |               |
| 具体的な取り組み状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○2度の学習時間調査(2週間分)を行い、自己の学習時間を冷静に見つめさせた。</li> <li>○赤点講習の事後指導を実施するとともに、課題の提出を促す事前指導に努めた。</li> </ul>   |               |
| 評 価        | C   | 前年度から大きな変化なし。 |
| 次年度へ向けての課題 | 新学習指導要領では観点別評価が導入され、その一つとして指導と評価の一体化が求められる。必然的に、評価に直結する学習課題を家庭でも行うように進めていく。   |               |

<評価基準> A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

|            |  |  |
|------------|--|--|
| 重点項目       | <b>2. 宗教教育</b>   |  |
| 重点課題       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学園の心」の具現化に努める(自分の内側にある思いを言語化・行動化する)。</li> <li>慈光堂や教室内で合掌する姿を美しく保つこと(<b>beauty of form</b>=様式美)を、常に意識する。</li> </ul>   |  |
| 現 状        | <ul style="list-style-type: none"> <li>慈光堂を本校における「特別な場所」「中心となる場所」として、教員・生徒ともに認識していることが、礼拝の態度から感じることができる。</li> </ul>  |  |
| 達成目標       | 慈光堂では、教員・生徒ともに、人の話に耳を傾ける時間・心を落ち着かせる時間であることを、共通認識とする。   |  |
| 方 策        | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種礼拝で、多くの教員に講話の機会を持ってもらい、宗門校の教員であるという意識を高めるとともに、生徒に「気付き」を与えられるような講話をするために、今現在の話ができるよう、常にインプットを怠らないよう促す。</li> <li>「報恩の日」に生徒(3年生)が話す機会を設けることで、生徒自身が同世代の思いや考えを知り、己の日常に刺激を与えるきっかけとする。</li> <li>行事は特別な時間であることを生徒に意識させるため、移動時(入堂前)から静かにする、正装(ブレザー着用)で臨む、念珠を持参する等、担任が教室での指導を徹底する。</li> </ul> |  |
| 達成度        | <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね年度当初の計画通りに宗教行事を実施することができた。</li> <li>宗門校らしく、厳かな雰囲気の中で宗教行事に取り組むことができた。</li> </ul>   |  |
| 具体的な取り組み状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も、クラス報恩講の代替行事として、学年報恩講を実施した。</li> <li>「報恩の日の礼拝」で、3年生が講話を担当し、残りの高校生活をどう過ごすかを幹として1・2年生に話をし、生徒も傾聴していた。</li> <li>朝の礼拝で、一度した話はしないよう、多様な視点からの講話を心がけた。また、パワーポイントを用いる、あるいは生徒がピアノを弾いてその曲に応じた話をする等、講話担当者および勤行担当者が飽きがこないよう工夫を凝らした。</li> </ul>   |  |

|            |   |  |
|------------|---|--|
| 評価         | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、多くの教員が礼拝での講話の準備を徹底し、生徒の琴線に触れる話をした。</li> <li>・コロナ過により、報恩の日の礼拝の回数(報恩献金を集める回数)が例年より少なかったが、「ウクライナ支援募金」や「新型コロナウイルス対策等活動資金」など、非常時にもそれなりの対処をした。</li> </ul> |
| 次年度へ向けての課題 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報恩の日の礼拝における、生徒講話を継続する。</li> <li>・次年度の各種礼拝や宗教行事も、「言われてみれば確かにそうだな」と気付ける、生徒にとっての良い言語体験となる場としたい。</li> </ul>  |

<評価基準> A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

|            |   |  |
|------------|---|--|
| 重点項目       | <b>3. 進路指導</b>  |  |
| 重点課題       | 進路を取り巻く状況の変化に対応し、積極的に進路を実現しようとする生徒を育成する。  |  |
| 現状         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学希望者が増加傾向にあり、適性や実力を見据え、計画的な進路指導が必要な状況である。</li> <li>・就職の内定はここ数年100%であるものの、最後まで職種や企業の選択に悩んでいる生徒がいる。</li> <li>・大学入試や就職試験に関する制度の変革が引き続き予想されるため、情報の収集と共有がより必要となってくる。</li> </ul> |  |
| 達成目標       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学をはじめ難関大学への合格者を輩出する。</li> <li>・関係校への進学を目指す生徒を増やし、個別指導をはじめしっかりとサポートをする。</li> <li>・進学・就職の決定および内定100%</li> </ul>   |  |
| 方策         | <p><b>【進学関係】</b> 入試の制度や内容をしっかりと分析し、生徒に必要な学力や適性を把握した上でサポート体制を構築し実践する。</p> <p><b>【就職関係】</b> 企業が求める人材(生徒)の育成に努めるとともに、企業訪問を通じて企業との連携を強化していく。</p>  |  |
| 達成度        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学 1名 私立大学49名(関係校12名含む)</li> <li>・短期大学 33名</li> <li>・専門学校101名(高等看護学校5名を含む)</li> <li>・就職 70名(公務員5名を含む) 内定率100%(学校斡旋分12月末達成)</li> </ul>                                    |  |
| 具体的な取り組み状況 | <p><b>【進学関係】</b> ・国公立大学をはじめ、関係校や看護系・県内短大などの受検者に対して個別指導やグループ指導をきめ細かく実践した。</p> <p><b>【就職関係】</b> ・企業訪問の数を増やして情報収集や連携強化を行ったほか、生徒の応募前職場見学を徹底させ、早期から就職活動への意識を向上させた。</p>   |  |
| 評価         | B   | <p>進学においては、国公立大学や難関私立大学へ挑戦する生徒の全員合格を達成できなかったことは残念であるが、新しく総合型選抜で合格者を輩出できたことは来年度以降につながる。</p> <p>就職については、すべての生徒が2社目までにしかも12月までには内定を得られたことは、評価したい。</p> |
| 次年度へ向けての課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で進学実績を向上するために、今まで以上に勉強に取り組む姿勢を身に付けさせるとともに、将来像をしっかりと描ける生徒を育てる。</li> <li>・就職環境の変化にもしっかりと対応し、ミスマッチの無いように生徒や教員への情報提供をしっかりと行う。</li> </ul>                                    |  |

<評価基準> A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

|      |  |  |
|------|--|--|
| 重点項目 | <b>4. 生徒指導</b>   |  |
| 重点課題 | <p>「龍富プライド AKO」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県で一番さわやかな挨拶ができることを目指す。・・・挨拶(A)</li> <li>・授業等での礼式作法の徹底。・・・感謝(K)</li> <li>・いじめを許さない学校づくり。未然防止・早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・良好な対人関係を育む。・・・思いやり(O)</li> <li>・時間厳守。5分前行動を実践しゆとりを持って行動する習慣を身に付ける。</li> </ul> |  |

|            |  |
|------------|--|
| 現 状        | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年と連携を密にし、いじめにつながる行動の早期発見・対応に努めている。</li> <li>全体の3分の1程度の生徒が、挨拶が苦手である。</li> <li>登校時間が早まっているため遅刻が減少した。授業開始時のベル着はクラスに差がある。</li> </ul>  |
| 達成目標       | <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめは起こり得るものとして早期発見、対応に努め「いじめゼロ」を目指す。</li> <li>富山県で一番さわやかな挨拶を目指す。</li> <li>時間厳守で規律ある雰囲気を作る。</li> </ul>   |
| 方 策        | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の声に耳を傾け小さな変化を見逃さない。規律ある学校生活を送れるように各学年との協力体制を作る。</li> <li>「学園生活調査」を実施し、生徒が気軽に相談できる体制を整える。</li> <li>挨拶が上手くできるよう教師から元気よく挨拶をし指導する。</li> <li>教員が5分前行動を実践することで定着させる。</li> </ul> |
| 達成度        | <ul style="list-style-type: none"> <li>残念ながらいじめが発生した。強弱による人間関係の典型的なケースであった。</li> <li>依然コロナ禍にあり、さわやかな挨拶を実現できていない。しかし、挨拶の意識は浸透してきていると思われる。</li> <li>登校時間に合わせて、ゆとりを持って登校できる生徒の割合が増えた。</li> </ul>                      |
| 具体的な取り組み状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学園生活調査を実施した。</li> <li>毎月15日に「さわやかな日」を設定し、交通安全とあいさつの啓発を行った。</li> <li>交通安全教室を1年生で実施した。</li> </ul>   |
| 評 価        | C 本校の目指す生徒像に成長している生徒の割合がまだまだ厳しい。   |
| 次年度へ向けての課題 | 学園生活調査に何も書かない生徒が少なくない。何事もなければよいが、教員が信用されていない側面も懸念されるので、生徒との信頼関係を深められる生徒指導を目指したい。爽やかな雰囲気を持てるよう身だしなみの指導を大切にしたい。  |

・問<評価基準> A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | <b>5. 特別活動</b>   |
| 重点課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団活動（ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事）や部活動、奉仕活動等を通して、自主性・責任感・協調性・奉仕の心・思いやりの心などの人間性を育成する。</li> <li>「SDGs」の目標達成に協力し、小さなことからコツコツと努力を積み重ね、「生かされていることに感謝する」ことのできる生徒の育成に努める。</li> </ul>  |
| 現 状  | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設面での制約の中、生徒たちは意欲的に部活動に取り組んでいる。</li> <li>学校行事やホームルーム活動を「一人一役（躍）」で取り組める場として設定する必要がある。</li> <li>「回収運動（11年目）」の継続が、「SDGs」の目標達成に繋がることを周知させる必要がある。</li> </ul>   |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事には生徒・教職員全員が全力で取り組む。</li> <li>部活動加入率1・2年生<b>70%</b>以上。学校行事（体育大会等）満足度それぞれ<b>70%</b>以上。</li> <li>龍富（RYUTOMI）プライド「<b>A（挨拶）・K（感謝）・O（思いやり）</b>」をもつ生徒の育成に努める。</li> <li>「<b>RYUTOMI SDGs ゴール8（エイト）</b>」を意識し、私たちの未来のために、今できることをしていく。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>貧困をなくそう</b>:「文具平等」(神戸龍谷とのコラボ)</li> <li>3. <b>すべての人に健康と福祉を</b>:「富山マラソン」、「施設訪問」、「回収運動」(富山別院、藤園・藤園南幼稚園とのコラボ)</li> <li>4. <b>質の高い教育をみんなに</b>:「文具平等」</li> <li>5. <b>ジェンダー平等を実現しよう</b>:「回収運動」</li> <li>10. <b>人や国の不平等をなくそう</b>:「文具平等」、「回収運動」</li> <li>12. <b>つくる責任 つかう責任</b>:「文具平等」、「回収運動」</li> <li>16. <b>平和と公正をすべての人に</b>:「いじめゼロ」</li> <li>17. <b>パートナーシップで目標を達成しよう</b>:「文具平等」(神戸龍谷)、「回収運動」(富山別院、藤園・藤園南幼稚園)</li> </ol> </li> </ul> |

|            |  |
|------------|--|
| 方 策        | <p>[生徒会執行部]生徒の諸活動（受賞・代議員会・委員会の報告）を、昼休みに放送を通じて伝達。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒主体の行事の企画・運営、そして外部へ発信する企画。</li> <li>・行事「満足度アンケート」の意見を集約し、改善に生かす。</li> <li>・学期毎に重点的な回収運動を展開。結果を「見える化(グラフ化)」し、SDGsの啓蒙に努める。</li> </ul> <p>[校紀委員会]→A（挨拶）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶」についての意識づけ。校内外の風紀向上のための取り組みを話し合い、実践する。</li> </ul> <p>[美化委員会]→K（感謝）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美化活動の問題点」を話し合い、具体策を実施。「スローガンポスター」コンテストを開催。</li> </ul> <p>[福祉委員会]→O（思いやり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「回収運動（11年目）」の継続で、「SDGs」の目標達成に貢献する。</li> </ul> <p>[部活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の加入率アップを目指す。</li> <li>・心身の健全な発達のため、練習時間、内容、休日など無理のない計画を作成し、実施する。</li> </ul> |
| 達成度        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して回収運動の結果を「見える化」し掲示。その成果を生徒会誌「藤苑」に掲載した。</li> <li>・龍富（RYUTOMI）プライド「A（挨拶）・K（感謝）・O（思いやり）」を具現化するものとして、校紀（A）・美化（K）・福祉（O）の3つの委員会活動を、生徒会執行部主導で活動計画を立案し実施できた。ただし、3学期は天候不良とコロナによる行事日程変更により、校紀委員会「挨拶運動およびさわやかなの日」と美化委員会「電停掃除当番」を実施することができなかった。</li> </ul>  |
| 具体的な取り組み状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して全校集会の実施はできなかったが、ライブ配信の学年と、慈光堂に入る学年とで係分担をし、特活部の教員以外の協力も得て実施した。</li> <li>・[校紀委員会]挨拶運動・さわやかなの日、[美化委員会]クラス宣言の掲示・電停掃除、[福祉委員会]毎月の「回収運動」、[生徒会執行部]令和4年3月福島沖地震募金活動を通して、「RYUTOMI SDGs ゴール∞(エイト)」活動の推進を図った。</li> <li>・生徒会活動（委員会活動）、部活動等の取り組みについて、校内外に発信（ケーブルテレビ、龍谷総合学園、生徒会誌等）することができた。</li> </ul>   |
| 評 価        | <p>B</p> <p>日々の学校生活の中で、龍富（RYUTOMI）プライド「A（挨拶）・K（感謝）・O（思いやり）」、「RYUTOMI SDGs ゴール∞(エイト)」を意識し、これまで教員からの指示伝達が中心だった各種委員会活動を、生徒会執行部ならびに委員長主導で実施しようと取り組み始め、年度末には生徒会執行部の発案による取り組みが増えてきたことは、喜ばしい限りである。</p>  |
| 次年度へ向けての課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会誌「藤苑」を無事3月1日に発行することができたが、教員の手を借り過ぎている現状を次年度から検討し直す必要がある。</li> <li>・次年度は、3年に一度の「文化祭」開催年である。コロナ禍でも開催できるよう、生徒たちが「自分たちの力で行事を創り上げることができた」という満足感を得られるよう計画をしていきたい。</li> <li>・コロナ禍でもできる地域社会と連携したSDGs活動への更なる取り組みも検討すべきである。</li> <li>・特別活動を活性化していくことで、生徒たちの学校生活を充実したものにし、「龍富に来てよかった」という生徒を育てたい。</li> </ul>  |

<評価基準> A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | <b>6. 環境と健康指導</b>  |
| 重点課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・整った環境で学習や各種活動に取り組むため、環境美化についての意識向上を図り行動化することで環境管理（美化）と危機管理（災害）につなげてゆく。</li> <li>・「自分の健康（命）は自分で守る」という意識を持ち、疾病予防や健康の保持増進に努める態度を身に付けさせる。</li> </ul> |
| 現 状  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ちていたゴミを自主的に拾って捨てる習慣がしっかり身に付いていない生徒がいる。</li> <li>・清掃活動や美化活動の機会を増やし、環境美化意識を向上させる必要がある。</li> <li>・健康診断後の受診率が高くなく、自らの健康への意識を高めることが必要である。</li> </ul> |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「きれいな学校・気持ちの良い学校」を目指し、丁寧な清掃活動や進んでゴミを拾う姿などが日常化する学校を目指す。</li> <li>・健康診断後の受診率を上げる。</li> </ul>   |

|            |   |
|------------|---|
| 方 策        | <p>教員・生徒 「共働とA(挨拶)・K(感謝)・O(思いやり)」</p> <p>A 挨拶・コミュニケーションを図りながらの美化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、後輩の手本となるよう教員、上級生が自らの姿を見せていく。</li> </ul> <p>K 毎日の整理整頓の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所、勤務場所への感謝の思いが生まれるように。</li> </ul> <p>O 学園の仲間のための美化活動(社会・町内への美化活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を共に実践していくことで、生徒・後輩を思いやる気持ちを育む。</li> <li>・花がある環境作りに努める。</li> </ul> <p>[主な取り組み(共働)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室および部活動場所の整理整頓を行う。</li> <li>・富山市内電車「龍谷富山高校前駅」の清掃活動を定期的に行う。(特活部と協力)</li> <li>・校内外の環境美化について特活部(美化委員会)と協力して意識化を図る。</li> <li>・健康診断後の受診状況を配布し、受信カードを通して生徒及び保護者に受診勧奨を行う。</li> <li>・「ほけんだより」を発行し、健康に関する情報提供と知識の向上を図る。</li> <li>・外部講師による保健講座を実施する。</li> <li>・感染症を含めた疾病予防のための基本行動(清潔保持、咳エチケット、早期受診、休養など)を自ら実践できる態度と意識の喚起に努める。</li> </ul> |
| 達成度        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策として校内、教室内の消毒が毎日行われていることもあり、衛生と美化への意識を持ち清掃活動が日々実施されていた。</li> <li>・健康診断結果への受診率・・・27.8%</li> </ul> <p>「健康な生活を目指す」という観点で見ると、現状は受診への関心が薄い。また、未受診者の中で運動部員の歯科(虫歯)への未受診が上がっており、競技力への影響にもつながることも懸念される。</p>  |
| 具体的な取り組み状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「勤務先での感染拡大」に関する新聞報道に伴い、感染防止対策を全校生徒に配布。</li> <li>・感染症防止対策として、「龍富プライドAKO」にちなんで、「A あごマスク K こまめな消毒 O 密を避ける」をスローガンとして周知と実施。</li> <li>・昼食時の黙食徹底(教室内巡視と担任指導)。及び、授業中の教室内喚起の周知と実施。</li> <li>・毎月の「保健だより」配付と状況や季節に応じたメッセージの発信。</li> <li>・3学期の感染状況に応じ、「ペン型携帯用消毒液」を配付。</li> </ul>  |
| 評 価        | <p>C</p> <p>感染症防止対策をしながら年度を開始し、感染拡大等の状況の変化に応じて随時、周知徹底や新たな取り組みができたことは評価できる。しかしながら、後手の対策作りとなってしまう傾向が現在も続く。</p>  |
| 次年度へ向けての課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は生活習慣の中に感染予防行動が身につくつつあるが、一社会人としての生活様式を学ばせ更なる自主自立を目指す。そのために、「A あごマスク K こまめな消毒 O 密を避ける」を基本に、「TPOを考えた行動」を生徒自ら考え自律した生活様式を作れるよう指導する。</li> <li>・未然予防意識として、行動の自粛が社会を助けること、協力性が重要であることを周知し実践させていく。</li> </ul>   |

<評価基準> A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった